

「目黒区子ども条例」区民フォーラム

「子どもにやさしい」はみんなにやさしい！

子ども条例から目黒のまちづくりを考えよう

～子ども、若者、高齢者が共に生きるまち・めぐろ～



講師：山崎 亮 氏

(studio-L代表、東北芸術工科大学教授、慶応義塾大学特別招聘教授。)

少子高齢化時代に目黒区が更に発展していくためには「子ども、若者、高齢者が共に生きる居場所、共に支え合うまち」を創造していくことが大切ではないでしょうか。子ども条例が目指す「子どもにやさしいまちづくり」をもとに、人がつながるしくみをつくるコミュニティデザインの先駆者でもある山崎先生とこれからの目黒のまちづくりを考えてみませんか？

人と人がつながる
まちづくりができる
といいな！

日時：2018年1月15日(月)午前10～12時
(受付開始 9時30分)

場所：目黒区総合庁舎2階大会議室

対象：目黒のまちづくり、子ども支援に関心のある方
※150名(無料)要申込み

主催：NPO法人めぐろ子ども支援ネットワーク

共催：目黒区

連絡先：山賀

okika822@gmail.com

090-1810-1621

申込方法

以下のURLからお申し込みください
12月5日申込開始

<http://www.kokuchpro.com/event/megurokodomom2018/>



保育：1歳以上の未就学児10名
FAX申込可：03-3715-7108
※12/15締切



【山崎 亮 氏】1973年愛知県生まれ。大阪府立大学大学院および東京大学大学院修了。博士(工学)。建築・ランドスケープ設計事務所を経て、2005年にstudio-Lを設立。地域の課題を地域に住む人たちが解決するためのコミュニティデザインに携わる。まちづくりのワークショップ、住民参加型の総合計画づくり、市民参加型のパークマネジメントなどに関するプロジェクトが多い。著書に『ふるさとを元気にする仕事(ちくまプリマー新書)』、『コミュニティデザインの源流(太田出版)』、『縮充する日本(PHP新書)』、『地域ごはん日記(パイインターナショナル)』などがある。